



2015年10月15日  
第573号  
1部10円(組合員は組合費を含む)  
郵便振替0960-7-117274

発行 大阪教育合同労働組合  
Education Workers and Amalgamated Union Osaka (EWA)  
発行人 酒井 さとえ  
連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

# 府労委が勝利命令!

# 大阪樟蔭女子大外国人非常勤講師解雇無効

10月8日、大阪府労委は大阪樟蔭女子大外国人非常勤講師雇止め事件について、解雇が無効である旨の命令書を交付しました。

組合員は1996年から非常勤講師に採用され、労働条件改善を求めて2005年に4人で支部を結成しましたが、それ以降毎年のように持ちコマ数を減らされてきました。他の組合員は樟蔭の汚いやり方に嫌気をさしてやめていき、組合員は一人になりました。また、組合に入っていない外国人講師は頻繁に入れ替わりました。

## 組合つぶしを狙った解雇

コマ削減に対して、組合は団交・ストライキを繰り返し、労働委員会への救済申立も4回行いました。その都度勝利命令を取りましたが、樟蔭はついに2013年度をもって雇止め解雇を強行しました。解雇理由は、休講回数が多い(補講は行っている)、時間外の研修を拒否する、学生出欠簿の提出が遅延する、などでした。

団交で解雇通知を撤回しないため、2014年6月組合は府労委に救済を申し立てました。

府労委審査において樟蔭は、非常勤講師は1年契約だから解雇法理は適用されず、契約満了に過ぎないと主張しました。

## 労働契約法に無知な大学

しかし、府労委は18年間も契約更新してきたのだから解雇法理が適用され、解雇理由は客観的合理性・社会的相当性がなく、コマ削減をめぐる組合との紛争が続いていたことから学園内の組合員を消滅させる意思を持って解雇したものと推認され、組合活動

ゆへの不利益取扱である、と判断しました。

組合はさっそく府労委命令履行を求めて団交を申し入れています。

山下恒生(豊中支部・府労委事件代理人)

## 当面の日程

- 10月24日(土) 11時～ 大阪空港 JAL大阪支援共闘定例宣伝行動 ※結集をお願いします!
- 11月1日(日) 10時～16時40分 エルおおさか6階 『なくそう!官製ワーキングプア大阪集会 Vol. 3』参加費500円
- 11月3日(火・祝) 12時半～ 福島区民センター 『原発いらない 戦争いやや関西集会』

# 教育現場で戦争に荷担しないために!

## ～子どもを戦場に導く教科書はいらん!抗議集会～

10月9日、エルおおさかにおいて「子どもを戦場に導く教科書はいらん!」抗議集会が開催されました。主催は、組合も参加している、「あぶない教科書はいらない!2015大阪連絡会」です。会場は座席を埋めつくす参加者で熱気にあふれていました。

## 採択過程に問題あり!

まずは、異常な状況の中で、育鵬社教科書を採択した東大阪市と大阪市からの報告でした。選定委員会答申には育鵬社は入っていなかったにもかかわらず、教育委員長の主導で育鵬社公民を採択した東大阪市。傍聴者を締め出した密室採択で、日本教育再生機構と密接な関係にある高尾元久教育委員が育鵬社教科書の採択を主導した大阪市。その他、



会場は満席!活動報告をする吹田支部・増田賢治組合員

育鵬社を採択した、泉佐野市・四條畷市・河内長野市においても採択過程に問題があったようです。

## 幅広い運動で

### 採択を阻止した地域も

育鵬社の採択を阻止した地域からの報告もありました。

吹田支部の増田賢治組合員からは、教科書問題を考える北摂市民ネットワークとして、3年間にわたって、党派を超えた市民団体への働きかけや学習会を続けてきた成果が報告されました。吹田や箕面からの報告に続き、民団青年部やSADL(民主主義と生活

を守る有志・Small Axe for Democracy and Life)の若い世代からのアピールもあり、運動の広がりを感じました。

## 私たちはあきらめない

今後の取り組みとして、採択過程の問題点の追及、とくに大阪市では公正取引委員会への提訴、日常的な教育委員会・総合教育会議の傍聴を通じて首長の介入への警戒、戦争法反対に立ち上がった若者との連帯などが提起されました。12月6日には、エルおおさかにおいて「『戦争する国』の教科書を許すな!若者を戦場に送るな!みんなで声をあげよう大阪集会(仮称)」も計画されています。4年後の育鵬社ゼロ採択にむけて取り組みをすすめてみましょう。

増田俊道(執行委員)

# 「君が代」不起立戒告処分取消訴訟第1回口頭弁論開催

## 今こそ、すべての「君が代」不起立処分の不当性を訴えよう！

9月30日、大阪「君が代」不起立戒告処分取消集団訴訟第1回口頭弁論が開廷されました。法廷内に入りきれないほどの人が、傍聴に訪れていました。

この日の法廷では、被告からは答弁書が出され、原告からは現職教員2名が意見陳述を行いました。

また裁判所はその後の進行協議で向後4回の期日を決定しました。12/7(10時)、2/17、4/13、6/13(いずれも13時半)、すべて809号



法廷です。今後とも力強い傍聴支援が必要とされています。

戦争法が強行採決され、学校が戦争に再び加担させられようとしている今、「君が代」強制に抗う運動の意義はますます重要になって来たと言えます。全国で唯一大阪だけにある「君が代」強制条例、ならびに事実上3度の不起立でクビを明言していると言える職員基本条例の違憲性・違法性を訴え、すべての「君が代」処分の不当性を訴えたいと思います。

また、2名の高校支部組合員も、原告として今後の法廷で順次意見陳述を行う予定です。さらに大きな運動の流れを作り出していきましょう。

辻谷博子(高校支部)

# 第27回全労協大会開催



10月4・5日、全労協第27回定期全国大会が開催され、全労協傘下の労働組合が全国から熱海に結集し、2日間に渡って活発な議論が行われました。

安倍政権による戦争法、労働法制改悪とどう闘っていくか、来年度の参議院選に向け、労働組合として安倍政権打倒の運動をどう作って行くかなどが議論の中心になりました。国鉄労働組合からは、戦争法によって公共交通機関を狙ったテロのリスクが高まるとの指摘がありました。郵政産業労働者ユニオンからは、日本の全家庭に簡易書留でマイナンバーを届けることによる想像を絶する業務負担に関し、大きな不安の声が聞かれました。

大椿裕子(副執行委員長)

# レインボーパレードへようこそ！



すべての人にとって心地よい暮らしを模索したい」という意味です。

映画「パレードへようこそ」や「ミルク」に描かれたように、教育に携わる者として、また労働者として「性的マイノリティ」と連帯することは、社会の解放をめざす理念を共有するものです。

## 多様な催し

パレードは梅田に自由な雰囲気醸し出しました。

ブースには、「区役所職員有志」、「関西クィア映画祭」、「仲良くしようぜパレード」、「LGBTsフレンドリー弁護士」などが参加していました。ステージでは、レズビアンどうしの結婚式、手話サークル、MtF(男性から女性)にシンガーなど多種多様な人達が登場し大変盛り上がりました。 田中浩昭(高校支部)

## ちがったままで一緒に生きよう

10月10日(土)に扇町公園で開催されたレインボーフェスタに、組合は横断幕を作って参加しました。

レインボーフェスタは、LGBTなど「性的マイノリティ」の祝祭で、パレードは今年で10周年を迎えました。

性的マイノリティは5%から7%といわれる、左利きの割合に相当します。近年は公教育の場でも新たに認識されてきた人権課題です。

会場には高校生の姿も多数見られました。

## プリズムを通した解放

今年のフェスタのテーマはPRISMです。「レインボーフェスタ！というプリズムを通して一人ひとりの‘性’や‘生’のあり方を映し出したい。す



# 文化おちこち (152) 中国日本語教師物語

【第2回】

『9.18 歴史の音が鳴る』



朝方、サイレンが鳴った。一瞬なんだ？と思ったが、そうだ9月18日だと気がついた。1931年のこの日、日本は中国東北部柳条湖付近で自ら爆破事件を起こし、それを中国側の仕業とでっちあげ大陸侵略の足掛かりとしたのだ。

中国の人々はこの日を「铭记九一八」(9.18を心に刻んで忘れるな)と呼ぶ。中国版ライン「微信」でも、少なくとも学生がこの日のことに触れていた。「勿忘国耻」(国辱を忘るることなかれ)「勿忘血泪」(血涙を忘るること

なかれ)。

そんな中、日本語を学んで1年になるある学生が「警報を鳴らすのは歴史の音だと思いませんか」と投稿していた。まさにその通りだと思った。

私も投稿した。「本当は、日本人こそ忘れてはいけない歴史であり語り継がねばならない歴史だ。私は日本の加害の歴史を知った時、愕然とした。そして心底人間が恐ろしいと思った。軍国主義教育があったとは言え、これは“優しい”“親切な”日本人がしたことなのだ。なぜ、そんなことになったか。戦争が起こったからだ。戦争は日本人を鬼にした。だから、忘れてはいけない。戦争には断固反対する。あなたには誰も殺させない。そして誰からも殺させない。“教え子を二度と戦場に送るまい”日本の多くの教師は戦後の教育をここから出発させた。私もそれを受け継ぎたい。殺すな！殺されるな！たとえ国家が命じても！」

日本で戦争法が着々と進行しつつある今、私はつながることで抵抗したい。(Z)



もうかれこれ十一年前の歌を一曲…

♪見よ、選挙のふた開けて、総裁後継、審議中♪自民の狂気、ハツラツと、希望

は踊る、多数決♪オオ、強行の採決に、そびえる首相の姿こそ♪オオ、国民不在、揺るぎなき、我が政党の誉れなり♪『愛党行進曲』(歌：高田渡)より